

C.COM

広島 の 生協

平和とより良き生活のために

AUG.2017
VOL.63

広島県生活協同組合連合会
発行 2017年8月30日



特集1「2017ピースアクションinヒロシマ」

「2017ピースアクションinヒロシマ」… 1-3

- ・虹のひろば
- ・こども平和会議

特集2 ヒバクシャ国際署名 …… 4

- ・ヒバクシャ国際署名活動

会員だより・トピックス …… 5・6

- ・平和活動ピックアップ
- ・平和夏のつどい2017
- ・けんこうチャレンジ2017
- ・わいわい広場(子ども食堂)スタート!

会員だより・トピックス …… 7・8

- ・広島県生協連 2017 年度通常総会
- ・広島県協同組合連絡協議会通常総会
- ・消費生活課意見交換会
- ・2018 折り鶴カレンダー
- ・広島県生協連創立 50 周年企画案内
- 「市民平和フォーラム」
- 「この世界の片隅に」上映会

特別寄稿「50周年に寄せて」… 9

広島県生協連虹友会(OB会)副会長
後藤 利行氏

事務局から …… 10

- ・理事会報告
- ・組織平和委員会報告
- ・福祉・介護委員会報告
- ・消費者ネット広島情報

『日々のことから』… 11

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)
連合会 センター事業団中四国事業本部
本部長 竹森 鉄氏
・編集室から

次代へ

50th
Anniversary

広島県生活協同組合連合会は
今年創立50周年を迎えます



2017 ピースアクション in ヒロシマ

2017 ピースアクション in ヒロシマ 子ども平和会議アピール

今年でヒロシマ・ナガサキに原爆が投下されてから72年が経ちました。72年たった今、被爆者の方々の高齢化が進んでいます。その中で、被爆者の方から直接話を聞けるのは私たちの世代までです。私たちは、被爆者の記憶を風化させないように後世に伝えていく責任があります。

今年、国連で核兵器禁止条約が採択されました。世界にはいろいろな国があり、いろいろな考え方があります。価値観が違うからこそ、相手のことを考え、理解したうえで、自分の意見を伝えることが大切です。そうすることで、お互いに理解したり尊重し合ったりできます。

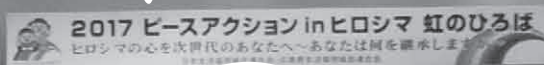
今日、全国から来た人々と平和について話し合ったことを活かして、私たち一人ひとりができることを考え、それぞれの地域で行動していきましょう。

2017年8月5日 ピースアクション in ヒロシマ
子ども平和会議参加者一同

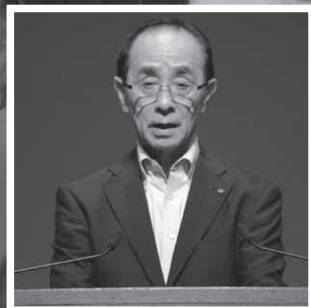
虹 の ひろば



子ども平和会議のアピール文を読み上げ



来賓として挨拶する松井一實広島市長



主催者を代表して挨拶する本田代表理事会長

虹のひろば開会宣言後、全員で原爆の犠牲者に対して黙祷を捧げる

8月6日のヒロシマ原爆の日の前日5日、生協恒例のピースアクションinヒロシマ『虹のひろば』が今年も開催されました。会場となったグリーンアリーナは、12時30分の開場とともに、大勢の人が詰めかけ、開演の13時10分には、全国70生協から訪れた1450名余りの人で席が埋めつくされました。

第1部虹のステージは、玉田陽子さんの司会で、広島市立東原中学校吹奏楽部の演奏「陽が昇るとき」でスタート。続いて、「それ行けカープ」、「ふるさと」と、奏者の「平和を願い、心を込めた演奏」が会場に詰めかけた人々の心を満たします。

続いて、主催者である日本生協連本田英一代表理事会長の挨拶。それが終わると、原爆の犠牲者への哀悼の意味を込めて全員で黙祷を捧げました。

次に来賓として出席された松井一實広島市長は、生活協同組合の皆さんが、核兵器のない平和な世界の実現に向けて、日頃から積極的に活動されていることに深く敬意を表するとともに、今後とも「絶対悪」である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向け、共に力を尽くし行動してくださることを心から期待しています、という言葉述べられました。

挨拶が済むと、ステージは、広島市立沼田高等学校演劇部の

2017 ピースアクション in ヒロシマ『虹のひろば』



私たちが描きました

「次世代と描く原爆の絵」プロジェクト（広島平和記念資料館主催）に参加して、原爆被害の実相を後世に伝え、被爆体験を継承していくために、1年がかりで『原爆の絵』を描いた広島市立基町高校創造表現コース2年生の前田葉月（写真左）さんと三坂日奈子さん。二人は、「被爆体験を継承していく大切さ」を語るとともに、見たこともない、想像を超えた悲惨さを絵にし、被爆者の方と一緒に仕上げていく大変さを、振り返って語ってくれました。



上は前田葉月さん、下は三坂日奈子さんの作品



広島市立沼田高校演劇部による『風の電車』



安田女子大学書道学科「書道ガールズ」の大書パフォーマンス



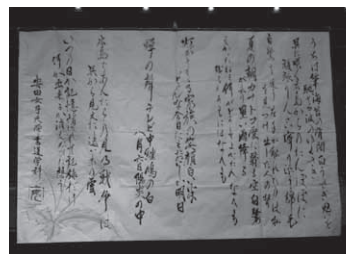
福山工業高校のVR映像体験



懸命に演奏する広島市立東原中学校吹奏楽部員



「虹のひろば」折り鶴解体コーナー



安田女子大学書道学科「書道ガールズ」の作品



フィナーレは「虹のひろば合唱団」



沖縄の展示コーナー



ララコープ（長崎県）の展示コーナー



「虹のひろば」原爆に関する展示コーナー

「原爆の絵」のコーナーでは、実際に展示している絵を描いた二人の女子高校生、前田葉月さんと三坂日奈子さんにお話を伺うこともできました。8月5日、広島市の原爆記念日の前日の「虹のひろば」は、終日、熱い思いを心に秘めた人々で埋め尽くされました。（文責・Y）

展示コーナーでは、原爆についての展示、日本各地から集まった各地の生協ブースで訪問者との交流がはかられています。また、折り鶴コーナーでは熱心に鶴を折る人、解体コーナーでは丁寧に折り鶴を分解する人と、それぞれが平和の思いを抱いて行動しています。

みんなのひろばでは、安田女子大学書道学科書道ガールズの「大書パフォーマンス」。大きな紙面上で5名が、リズムカルな動きで、平和を願いながら詩を書いていきます。

演劇が終わると、「ヒバクシャ国際署名に取り組もう」という呼びかけ人の一人である日本被団協田中照己さんからのビデオメッセージ。そして、舞台は、第2部みんなのひろばへ。
みんなのひろばでは、安田女子大学書道学科書道ガールズの「大書パフォーマンス」。大きな紙面上で5名が、リズムカルな動きで、平和を願いながら詩を書いていきます。

2017 ピースアクション in ヒロシマ 『子ども平和会議』

2017子ども平和会議 考え、話し、次に伝えていくのは私。



「子ども平和会議」中高校生の部



まずはじめに、「原爆」について学びました



「子ども平和会議」小学生の部

「2017子ども平和会議」が、2017ピースアクション in ヒロシマの一環として8月5日午前10時から、「虹のひろば」会場の隣の会議室において開催されました。

全国18生協を通じて参加した小学生及び中・高校生105名は、(1)自分たちの住んでいる地域の戦跡・資料館訪問などの学習を通じて、平和について考える (2)地域で学んだことを持ち寄り「核兵器や戦争など争いごとをなくすために私たちができること」をテーマに交流 (3)学んだこと・感じたことを家族や友達、まわりの人たちに伝える。の3つを目的に、原爆の日の前日にヒロシマに集いました。

会議は、小学生、中学生2つの会場に分かれ、それぞれ7、8名の班を結成。まず大学生から『原爆』についていろいろ学びました。そして、個別に調べたことや、学んだことについて、一組の班の人たちとお互いに意見を交換しました。ほぼ日本全国からこの子ども平和会議に参加したみんなは、平和について強い問題意識を持っています。自分の意見を述べる際の各目の瞳は、きらきらと輝いています。この会場でまとめられた意見は、午後の虹のひろばで、「アピール文」として結実し、会場の皆さんに披露されました。(文責・Y)

ヒバクシャ国際署名

ヒバクシャ国際署名

7月9日（日）、新聞の朝刊1面のトップ記事（次ページ）が、国連本部での条約交渉で「核兵器禁止条約を採択」という見出しで飾られた。また、社会面では、「被爆者世界を動かす」という見出しで（右同日朝日新聞記事）、被爆者の訴えが、世界を動かしたことを大きな見出しとともに記述していた。

核兵器廃絶と恒久平和を願う世論形成を目指して、広島県生協連は、「平和とより良い生活のために」をスローガンに一貫して、思想信条を超えて、人類と核兵器は共存できないことを主張し、市民による平和活動を推進している。そして、被爆者

自らが核兵器廃絶を願って、世界の人々の声『署名』を国連に届けるために活動している『ヒバクシャ国際署名』をも、身を以て後押しをしている。

この度の「核兵器禁止条約採択」は、踏みつけられたまた立ち上がって核兵器廃絶を求めてきた72年の、ヒバクシャの思いが、一つ実を結んだということである。条約の採択は、大きな成果だといえ、核保有国を含め、その核の傘の下にある国々（日本を含む）は、条約交渉会議に参加しなかった。真の核兵器廃絶にはまだ道半ばである。ヒバクシャの努力と苦悩はまだまだ続く。（文責・Y）



2017年7月9日朝日新聞朝刊より



2017年6月1日、松井市長も参加してヒバクシャ国際署名活動（上・下）



平和活動ピックアップ

平和活動



(2017.7.8 NHK TV ニュースより)

世界で唯一の被爆国である日本、その日本の被爆地「ヒロシマ」「ナガサキ」の人たちと日本中の人々が長年待ち望んだ、世界から核兵器をなくす国際的法律「核兵器禁止条約」が、7月7日、米ニューヨークの国連本部の条約交渉会議で採択された。交渉会議の最終日、国連加

盟193カ国中122カ国が投票に参加し、122カ国が賛成したが、北大西洋条約機構（NATO）に加わるオランダは反対し、シンガポールは棄権した。一方、米国など核保有国は批判声明を出して反発し、日本政府も批判に同調し署名しなかった。条約は、核兵器の保有とそれに伴う行為を幅広く禁止、核使用をちらつかせる「脅し」の禁止も盛り込まれた。中心となって交渉を推し進めてきたオーストリアのノッチ大使は、採択後の演説で、「被爆者の証言が私たち（推進側）を鼓舞した」と感謝を述べた。この条約の採択は、核兵器廃絶の道への第一歩となるものと、被爆地の広島、長崎でも歓迎された。



「核兵器禁止条約採択」のニュース（2017年7月8日中国新聞社提供）

核兵器禁止条約採択！

広島医療生協

平和夏のつどい2017

広島医療生協では、毎年夏と冬に被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての平和活動を広げるため、また平和憲法を守り二度と戦争をする国にさせないために、地域組合員と職員組合員との協同で、「平和夏のつどい」を開催してきました。

被爆者の高齢化が進み、被爆体験を話される方が少なくなってきた中で、今年の夏のつどいには、被爆者の体験や平和への思いを語り継ぐ活動をされている被爆体験伝承者の方に初めて講演をお願いしました。

「平和夏のつどい2017」では、広島市の被爆体験伝承者として活動されている藤本敏恵さんに、爆心地から約23キロ離れた工場で被爆した梶本淑子さんの証言を講話していただきました。

藤本さんは「迫り来る炎から逃れるため、死体を踏んで逃げた。あのひどい感触は一生忘れない」「誰にも死んだ人をまたいで歩くような経験をして欲しくない」「今の平和は死んでいったたくさんさんの命のおかげで平和だから、ずっと守っていかねばいけない」「何よりも命を大切にしたい」「何よりも命を大切にしたい」という梶本さんのメッセージを力



平和夏のつどい2017の会場の様子



被爆体験伝承者 藤本敏恵さん

（報告・広島医療生協組織部 権藤正広）
今年の夏のつどいには、98名の方が参加しました。これからも継続して平和の取り組みを進めていきたいと思っています。

「長生きする秘訣」「100歳まで生きする方法」等、巷には様々な健康情報が飛び交っています。広島県民の平均寿命は男性79・9歳（全国11位）、女性86・9歳（全国7位）と上位ですが一安心というわけにはいきません。それは健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）が男性33位、女性46位と大幅に下がっているからです。つまり、周りのサポート（介護等）なし

では生活できない期間が長いということになります。

この健康寿命を延ばしていく取り組みは広島県も最優先課題として進めているもので、当生協連が取り組んできた「けんこうチャレンジ」はまさに生活習慣を見直し健康を維持増進させるものとして、今年も広島県をはじめ、23市町と教育委員会の後援をいただき、7月から各地で取り組みが始まっています。

今年の特徴としては、「きつず

けんこうチャレンジ」という子ども用パンフレットで子どもならではのコースにチャレンジできるようになったことです。各地の教育委員会や校長会へ働きかけた結果、廿日市、呉、三次からは学校挙げて取り組みたいという小学校の申し込みも届いています。

また、けんこうチャレンジに取り組むことで広島県ヘルスケアポイントも獲得できることとなり、テレビの情報番組でも紹介されたことで取り組みの輪が広がっています。

なにより、広島県生協連創立50周年企画「この世界の片隅に」上映会にちなんで、パンフレットの表紙に主人公のすずさんが登場しているのが今年の「ミソ」というところ
です。これは、広島県民のお役に立つ企画と
思っています。皆で参
加しましょう！

(文責・広島県生協連)

藤代えり



みんなでワイワイ、「ワイワイ
広場(こども食堂)」スタート！

広島医療生協地域活動委員会



ワイワイ広場の様子（1回目）



縄跳びで遊ぼう



自分でむすんだ
おにぎりと冷や
麦ときゅうりの
浅漬け

全国で子ども食堂の輪が広がっていますが、広島医療生協では子どもたちが楽しく集まれる場として、7月28日、虹の会館ほつこりで、半年前から企画を温めていた「ワイワイ広場（子ども食堂）」を開催しました。家でも学校でもない地域の温かい居場所をつくろうと安佐南区社会福祉協議会やワーカーズコープと一緒に実行委員会を立ち上げて取り組んでいます。

時30分頃から子どもたちがグループに別れ、ゲームで交流を深めました。そして、ご飯が炊けたらみんなで丁寧に手を洗い、ラップを手に全員で三角おむすびを握りました。自分で握ったおむすびを、「固くておいしいねえー」と、明るく元氣よく頬張っていました。

7月24日から始まった夏休み宿題応援隊の参加者も加わり、2年生・6年生までの子どもたちが13名参加。大人は、生協組合員、生協職員、ワーカーズ・コープ職員、区役所職員合わせ

6年生までの10名の子どもたちが集まり、夏休み宿題応援の学習・読書、縄跳びをみんなで行い、大盛況でした。2回目のメニューは、おにぎりや冷や麦と浅漬けきゅうりでした。

て17名でした。地域の掲示板を見て参加した人もいました。

今回は、吉川副園長の指導で11

9月以降は、子ども達の意見も取り入れて、土曜日に開催できると調整していきます。

広島県生協連 2017 年度通常総会 広島県協同組合連絡協議会通常総会

2017 年度通常総会開催



祝辞を述べる JA 中央会坂本専務理事



祝辞を述べる鳥越県民生活部長



2017 年度広島県生協連通常総会会場



開会の挨拶を述べる岡村会長理事



長年にわたる功績に対して感謝状を贈られる戸田前理事長



生協連の使命を強調する高田専務理事

今年、創立50周年を迎える広島県生活協同組合連合会の通常総会が、さる6月21日（水）、広島市中区メルパルク広島において開催されました。

通常総会は、司会進行のもとに、まず開会宣言、資格審査報告、総会議長選出、書記の任命が行われました。

議長が指定された席に着くと

ともに、広島県生協連岡村信秀会長理事が挨拶をしました。岡村会長は、生協を取り巻く昨今の国際情勢と社会の動向を語り、広島県の生協の歴史とその経緯を紹介。そして、先人が残した足跡の一端に触れ、その教訓に学びたい、ということを力を込めて語ります。

そして、いま時代は大きく変わろうとしている、広島県生協連は、誰もが安心してくらせる持続可能な地域コミュニティの再生に向けて、50周年を機に県連全体の質の追求を目指したいという言葉で挨拶を締めくくりました。

続いて来賓の挨拶、広島県の鳥越直樹県民生活部長の県からの祝辞、JA 広島中央会坂本和博専務理事の祝辞ののち、総会の議事に入りました。

総会は、議案の提案、監査報告、がまず行われ、その後質疑・討論ののち、採決に入り、滞りなく議事が採決され、書記解任、議長退任となり総会は終了しました。最後に、長年県連の理事の職にあつてこの度退任した戸田真紀氏に感謝状が贈られ、その功績が讃えられました。

第32回広島県協同組合連絡協議会通常総会開催

広島県協同組合連絡協議会（以下、略称HJC）とは、広島県内の生協や農協、漁協など11の協同組合で構成する組織です。設立は1985年で、32年を迎えました。協同組合が連携して「人に優しい地域社会づくりをめざす」がHJCの理念。農協と生協が提携した地産地消運動を核に、食農教育、地域福祉などに協同の力を発揮しようとして活動しています。

人問らしい暮らしの実現への期待とその役割が協同組合に求められています。

しかしながら、この期待やニーズが多様化するなかにあつて、これまでの伝統的な「大きな協同」や、既存の協同組合連携だけでなく、「小さな協同」との多様な連携がますます重要になっていきます。

2016年11月に協同組合がユネスコの「無形文化遺産」に登録されました。協同組合が経済的・社会的諸問題の解決に向け、公正な経済活動の発展に連携して貢献することが期待されている今、協同組合運動の一層の推進と構成団体の相互連携のさらなる強化に向け、今年度も活動してまいります。

そのHJCの第32回通常総会が7月7日、広島県JAビルで開催されました。

今年のテーマは、「小さな協同」。日本も含め世界では行き過ぎた市場原理の導入により、持続可能な社会の開発はないがしろにされ、社会のひずみは大きく広がり、顕在化しています。格差・貧困問題の深刻化などにより、多くの人が未来に不安を募らせている中、真の豊かさとは

- 【2017年度の主な活動】
1. 協同組合運動の理解促進
 2. 協同組合間の相互連携情報の発信
 3. 協同組合運動の理解促進



【HJC構成団体】

広島県漁業協同組合連合会
 広島県信用漁業協同組合連合会
 広島県森林組合連合会
 広島県信用農業協同組合連合会
 広島県厚生農業協同組合連合会
 全国農業協同組合連合会広島県本部
 全国共済農業協同組合連合会広島県本部
 広島県果実農業協同組合連合会
 広島県酪農業協同組合
 広島県農業協同組合中央会
 広島県生活協同組合連合会

消費生活課意見交換会 2018 折り鶴カレンダー 広島県生協連創立 50 周年企画



意見交換会で報告する高田専務

広島県消費者団体連絡協議会 広島県と消費者団体との意見交換会を開催

6月26日、広島県と消費者団体との意見交換会が行われました。広島県消費者団体連絡協議会から、広島県生協連をはじめ7団体に参加しました。広島県からは、高齢者・若者の消費者被害に関する報告があり、若者は、消費者相談窓口の認知が低く、消費者被害にあっても相談されることが少なく、被害が存在している可能性が高いことが報告されました。

続いて、各団体から取り組み報告があり、広島県生協連からは、高齢者に対する地域での見守りネットワークの形成の取り組みと、広島大学生協が行っているミールカードについて報告をしました。

『ミールカードとは』
学食で1年間の利用総定額を申し込み、1日利用可能金額が日々食費として学生証に自動的にチャージされます。マイページを通じて、利用履歴として栄養バランスが確認できます。また、希望される保護者の方には、利用履歴をお届けすることもできます。

(文責：広島県生協連 森島哲司)

2018 折り鶴カレンダー

広島県生協連、コープCS ネット、生協ひろしまは、広島市が進めている「平和の折り鶴昇華再生事業」に取り組んでいます。毎年、広島平和記念公園内の「原爆の子の像」には、国内外から1千万羽(約10t)の折り鶴が寄贈されます。

この事業は、平和への思いが込められた折り鶴を、再生原料としてカレンダーや折紙、ノート等に商品化する事業です。

4年目となった今年は、好評の3ヶ月メモカレンダー

2018年版(600円税別)を9月より販売開始します。

平和への祈りが込められたカレンダーの購入にご協力をお願いいたします。

申込・問い合わせは広島県生協連までお願いします。



広島県生協連創立 50 周年企画のごあんない

2017 市民平和フォーラム

～「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い～

- 日時 2017年10月19日(木)
13時15分～16時50分
- 場所 広島県民文化センターホール
- 参加 500名(行政・生協関係者・被団協関係者・一般市民他)
- 入場料 無料
- 主催 広島県生活協同組合連合会
- 共催 広島市民平和6団体実行委員会
- プログラム

- ◇オープニングコンサート「CARP JAZZ」
- ◇シンポジウム「広島への被爆復興・カープとのお好み焼」
・「なぜ、広島にお好み焼があるのか」
広島市立大学 特任教授 國本善平氏
・「なぜカープは市民に愛されるのか」
NHK広島放送局報道番組ディレクター 鈴木昭弘氏
- ◇記念講演「〈被爆体験〉の行方」
広島市立大学 広島平和研究所 教授 直野章子氏
- ◇被爆者からのメッセージ「わたしの証言」
広島県原爆被害者団体協議会 副理事長 箕牧智之氏



「この世界の片隅に」上映会・トークショー

- 日時 2017年11月23日(木・祝)
・午前の部(上映開始10:00～トークショー12:30～)
・午後の部(上映開始15:00～トークショー17:30～)
- 場所 NTTクレドホール
- 料金 1,100円
- ゲスト 棚野幸知さん
(声優、広島弁監修、憲兵役など6役で出演)
- 主催 広島県生活協同組合連合会
- 協力 広島国際映画祭実行委員会



※お問い合わせ：広島県生活協同組合連合会

50 周年に寄せて

広島県生協連創立50周年に寄せて

思いつくままの独り言...



広島県生協連虹友会（OB会）副会長
（広島県生協連元理事・広島県労済生協専務理事）

後藤 利行

生協連創立50周年、支え合い、苦難の道乗り越えてきた仲間と共に心から喜び合いたいと存じます。

自分も84歳となり、年の所為か、最近、昔を思い出すことが多くなりました。今まで様々な運動に関わり、喜怒哀楽を味わいつつ、運動をしてきました。今の皆さんには、ゆとりもなく何か気忙さを感じられます。

若者たちを憂う

仲間意識や職場の繋がりが薄いのではないかと思います。競争と効率化、そして長時間労働を強いられ、まるでアリ地獄だ。最悪の職場環境。学び舎で、希望を持った若者達、人生出发点での重い荷物（借金）を背負い、出発させることは許されることではありません。早急に改善すべき事案と考えます。

日本初の20万集会

長年の願望であった核兵器禁止条約が、今年7月に国連（加盟193カ国）の場で、122

カ国の賛成によって採択された。私が現役時代、第2回国連軍縮総会（1982年）が開催され、それを成功させようとして、日本でもヨーロッパの大行動に呼応して、82年・平和のためのヒロシマ行動（略称3・21ヒロシマ行動）を行うことになった。その仕掛け人は、当時の総評・富塚事務局長や長州横浜市長であり「核兵器廃絶を求め、平和集会がドイツのボンで20万人、ロンドンで25万人の集会を行う準備が進められている。日本でも大行動ができないか、日本では初めての大行動・集会となる。成功させる力を発揮できるのは、広島のみではない。ぜひ挑戦してみてほしい。」と懇請された。広島多くの皆さんと相談し、そして知恵を出し合い、冷や汗をかき、皆で踏ん張り、日本初の20万人集会を成功させました。

生協運動の基本は助け合い

生協運動の基本は、助け合い運動であると学び実践してきました。

した。今日、大きな問題点の一つである「急速な高齢化・一人暮らし社会の到来」で深刻な問題です。国・自治体、企業も個人も共々お手上げの状態です。極めて難しい問題ですが、どこも避けて通ることはできません。助け合いを基本にする生協が改善の一端を担い、知恵を出し合って、対処できないものかと思えます。

今後は、共同購入減、個別配達の増と続き、先は個別配達の減、利用者の減、など事業規模に影響を及ぼすことも推測されます。

人前で話すときは要領よく

最近では人前でも話すことが時々あります。出来るだけ要領よく話すように心がけています。対話は別ですが、20人いる場合、例えば、5分間話すと述べ100分間話したこと「述べ計算」も出来ます。こんなことを思い、私は出来るだけ、話題毎に番号をつけ、（出来るだけ重複を避けるためもある）話す

ように心がけています。

ひと呼吸置くこと

よく忘れ物をします。頼んでいたものを忘れたり、酷いときは、財布を持って出ることを忘れたりです。事前のチェックと準備もするようにしています。また、年寄は、短気になりがちです（得になることはありません）。相手がいれば、一呼吸置き（相手との摩擦を避けるためにも）冷やす努力をします。

50th
Anniversary

広島県生活協同組合連合会は
今年創立50周年を迎えます

理事会・委員会報告 消費者ネット広島

理事会・委員会報告

第1回理事会報告

開催日 6月21日

場所 メルパルク広島6階
平成

出席 理事18名中16名出席

□決議事項

会長理事、専務理事、常務理事の互選について、代表理事について、役員の個別報酬について提案し、全事項について承認決定した。

第2回理事会報告

開催日 7月6日

場所 広島県生協連
3階会議室

出席 理事18名中15名出席

□決議事項

1. 他団体の公職承認の件について、広島市社協地域福祉推進計画策定委員会、日本生協連国際活動委員会の選出について承認決定した。

2. 2017年度専門員制度（コープ・アドバイザー）の選任について、3名を承認決定した。

□協議事項

1. 広島県生協連50周年企画について、パンフレット構成について確認した。

2. ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名の取り組みについて、ヒバクシャ国際署名名広島県推進連絡会（仮称）の事務局要請を受けることを確認した。

□報告事項

各事項について説明を行い、全事項について確認した。

・2017年度通常総会のためについて

・3生協共同事業化の進捗状況について

・広島市からの「広島市生活支援体制整備市域協議体」への参加依頼について

第2回組織平和委員会報告

開催日 6月9日

場所 広島県生協連
3階会議室

□主な協議・報告事項

・2017年度地域支援事業に関わる情報収集について

・2017年度平和活動（ヒバクシャ国際署名、ピースアクション、市民平和行進）について

・けんこうチャレンジ2017について

・広島県生協連50周年企画について

第2回福祉・介護委員会報告

開催日 8月23日

場所 広島県生協連
3階会議室

□主な協議・報告事項

・2018年度医療介護報酬同時改定への対応について

・3生協の共同事業化の進捗状況について

・第1回広島市生活支援体制整備市域協議体への参加報告について

・健康づくり活動について

・行政との連携について

消費者ネット広島

消費者トラブルの手口を知ろう③

近年、振り込め詐欺やインターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないように、また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。

★商品が届いても、代金を支払ってはいけません。事業者名住所、電話番号をメモした上で、「受け取り拒否」をしましょう。自分だけで判断できない場合は、家族等に相談することも大切です。

【ひとつの助言】

★申し込んだ覚えがなく購入するつもりもなければ、電話があったときに、きっぱりと断りましょう。

注文した覚えがない健康食品を送りつけられた！

（2017年6月6日 独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報第282号より）

「注文いただいた健康食品を送ります」などと電話があり、申し込んでいないと伝えても、強引に健康食品を送りつけられたという相談が後を絶ちません。

【事例】

「1カ月前に注文を受けた健康食品が出来上がったので、お届けします」と突然電話があった。金額は約2万5千円だという。「そんなに高額な健康食品は注文していない」と答えたが、「注文しているのだから受け取ってもらわないと困る」と言われた。その言い方が怖かったので、「今限りです」と言ってしまった。

★電話で断りきれず商品が届いてしまった場合でも、クーリング・オフが出来る場合があります。すぐにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください（消費者ホットライン188）。近年、振り込め詐欺やインターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないように、また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。



ピースアクション in ヒロシマ 「にじのひろば」 フィナーレ



すべての人に居場所と 出番がある社会を

【プロフィール】

竹森 鉄（たけもり てつ）

1975年生まれ、福岡県出身。1994年夜間大学に入り7年間トラックの運転手をしながら卒業。2000年労協センター事業団入団。2001年地域福祉事業所「安暖手」を立ち上げる。2004年青森県八戸出張所、2006年札幌事業所、2008年苫小牧事業所所長。2010年関西事業本部事務局長、2012年関西事業本部本部長、2015年中四国事業本部本部長、現在に至る。2006年に結婚し、現在3児の父。福岡県に家族を置いて広島市で単身赴任中。

日々のことから

日本労働者協同組合
(ワーカーズコープ) 連合会
センター事業団 中四国事業本部
本部長

竹森 鉄
たけもり てつ

ワーカーズコープとは

初めまして、ワーカーズコープ・センター事業団の竹森と申します。

私たちワーカーズコープは、「協同労働の協同組合」という日本の中ではまだ新しい協同組合です。協同労働の協同組合とは、働く人・市民が、みなで出資し、経営を担い、共に働く協同組合です。労働を通じて人間形成をすること、文化の伝承・創造すること、地域に必要な仕事をつくる、仕事おこし・まちづくりを目指しています。

2017年12月には設立30周年を迎えます。広島県生活協同組合連合会にも2年前より賛助会員として、微力ながら活動させていただいています。

私たちは東日本大震災を受けて、F（フード）・E（エネルギー）・C（ケア）の自給圏の確立を目指して、第一次産業への挑戦をはじめとした仕事おこしに取り組んでいます。北は北海道から南は沖縄まで全国に330箇所の事業所を設け、「FEC自給圏づくり」を合い言葉に、建物総合管理、介護、子育て支援、公共施設運営、自立支援（生活保護・生活困窮者支援）、第1次産業（農・林業）などの事業に約8,000人が組合員として就労しながら、多様な仕事おこしに取り組んでいます。

広島県内の活動

広島県では、1986年に広島中央保健生協から福島生協病院の清掃及び施設管理業務の委託を受けたことを皮切りに、現在、9事業所、組合員数200人、事業規模約5億円に到達しています。広島県内での主な取り組みは、ヘルパー講座を開講してその受講生と地域福祉に取り組む事業所を設立したり、職業訓練を開催して自伐型林業のチームを設立するなど、市民・失業者の仕事おこしに取り組んできました。また、3年前より広島市が「協同労働」をテーマに、「元気な高齢者を中心にして、地域課題をそこに住む人自身が協同労働による仕事おこしで解決を目指す」「協同労働プラットフォーム事業」に取り組む、ワーカーズコープがその事業を受託して現在12団体が立ち上がっています。子ども食堂にも広島医療生協と連携して取り組んでいます。

すべての人に居場所と出番がある社会を

私たちは事業を行う中で、多くの高齢者、中高年、若者、障害者、シングルマザーなど、働きたくても働けない方々に出会います。セーフティネットをしつかりと維持しつつ、課題を個人の問題に矮小化せず、社



林業チーム next green プンブンバーム

会全体で受け止め、地域で安心して働ける場やしきみづくりが必要です。すべての人に居場所と出番がある社会が求められます。現在国連では、17の「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals(SDGs))を定め、その達成に協同組合の持つ力を求めています。私たちワーカーズコープも昨年11月に国連で開催されたSDGの会議に招聘され、取り組みの発表をする機会を得ました。今年はSDGの17の目標をテーマにした「全国協同集会」を滋賀県で10月7・8日に開催する予定で、広島でも11月に広島協同集会を企画しています。

私たちは協同組合として、誰もが安心して働き、生活し、暮らし続けるまちづくりを目指し、多様な団体・個人と協同し、実践を広げていきたいと思っています。

【編集室から】

8月6日、9日の両日、広島と長崎は72回目の原爆の日を迎えた。両方の記念式典に安倍晋三首相が列席し、言葉を述べた。しかし、ご承知のように、首相の口は、「核兵器禁止条約」について触れることはなかった。田上富久長崎市長は、平和宣言で、条約を歓迎し、禁止条約に否定的な日本政府を批判。式典後、安倍総理は被爆者団体の代表と面談し、被爆者から「あなたはどの国の総理ですか」と厳しく迫られた。それだけ被爆地と、被爆者の心は傷ついているのだ。一方、国外に目を向けると、国際世論の批判をよそに、ミサイルの打ち上げを繰り返す北朝鮮の金正恩委員長と米トランプ大統領の間で、脅し合いがエスカレートし、核をほめかす言葉まで飛び出している。世界で唯一の被爆国である日本国民としては、よそ事ではない。▼そういった国際情勢のなかで、日本政府は、米の核の傘の下にいる立場上、核兵器禁止条約に不参加の決断をした。だがそれでは、広島に住む日本国民として恥ずかしい。次代の子どもたちにはどういえるのか。(Y)

平和とよりよき生活をめざして



広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町 2-6-11
第7ウエノヤビル 5F
TEL 082-532-1300 FAX 082-232-8100
E-mail : kenren.h@proof.ocn.ne.jp
URL : http://hiroshima.kenren-coop.jp